

今後の科学研究費補助金の在り方について

平成21年12月3日
独立行政法人日本学術振興会
学術システム研究センター

はじめに

1	「若手研究（B）」について	1
	(1) 検証結果	
	(2) 今後の方向性	
2	「若手研究（A）」について	3
	(1) 検証結果	
	(2) 今後の方向性	
3	「基盤研究（C）」等について	5
	(1) 検証結果	
	(2) 今後の方向性	
4	「若手研究」の成果の検証	7
5	科研費制度全体としての要検証事項	9
	(1) 「スタートアップ」研究種目の研究期間	
	(2) 研究種目の研究費の上限額の設定方法	
	[参考資料]	11

表1 平成20年度の若手研究（A・B）新規採択者のうち、過去に若手研究（A・B）に採択されたことのある者の人数等（研究費部会資料）

表2 「基盤研究」、「若手研究」の応募、採択件数等の推移（平成12年度～平成21年度）

表3 平成21年度「基盤研究」、「若手研究」の年齢別応募・採択状況

表4 平成21年度「基盤研究」、「若手研究」の研究期間別応募状況

表5 大学の本務教員数の推移（平成10年度、平成19年度）

はじめに

平成 21 年 7 月 16 日科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会（以下、「研究費部会」）において、「科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について（これまでの審議のまとめ）」（以下、「審議のまとめ」）が取りまとめられた。この中では、今後の検討の方向性を示すとともに、その具体的な検討を進めるに当たって、「若手研究」や「基盤研究」について実際の審査を行っている日本学術振興会から意見を聴取することとされた。

このため、本会においては、「若手研究」及び「基盤研究」のこれまでの応募・採択状況等を踏まえ、審議のまとめに示された制度改革を行う場合の影響等について、主として次の視点から検証を行った。

【検証の視点】

- ① 「若手研究」種目の一部を「基盤研究」に統合した場合における若手研究者に与える影響
- ② 「若手研究」から「基盤研究」への移行
- ③ 「若手研究」の成果

また、検証の過程で浮かび上がった新たな視点についてもあわせて検討を行った。以下に、検証結果及びそれらを踏まえての今後の「若手研究」及び「基盤研究」の方向性等について意見を取りまとめる。

1 「若手研究（B）」について

- （審議のまとめの「今後の方針」） -

- ⑤ 同様の規模の研究種目である「基盤研究（C）」などとの関係については、
（独）日本学術振興会などからも意見を聴取しつつ、引き続き検討を進める。
特に、研究費総額や研究期間などについてのバランスに留意しつつ、検討を
進めることが必要である。

(1) 検証結果

- 「若手研究」においては、平成 22 年度より受給の回数制限が行われることとなる（ただし平成 25 年度までは経過措置）。このため、まず、回数制限の対象となる者に対する影響について検討を行うこととした。

対象となるのは、比較的年齢の高い 35 歳～39 歳くらいの年齢層であると考えられる。「若手研究（B）」においては、この年齢層では、各年齢で 2,000～2,500 件程度の応募、600～700 件程度の採択、約 29%の採択率となっている。この中に 3 回以上の採択者が約 400 名程度含まれると考えられる（参考 1 研究費部会資料）。したがって、採択率から推測して応募者数は約 3 倍の 1,000 名程度となると推測される。これらの者は、受給回数の制限によって、若手研究に応募することができず、基盤研究に応募することとなる。

表1 平成21年度「基盤研究(B)(C)」、「若手研究(B)」の年齢別(34歳~41歳)応募・採択状況

年齢	応募資格者数	基盤研究(B)				基盤研究(C)				若手研究(B)			
		応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率
34	7,344	24	0.3%	6	25.0%	108	1.5%	30	27.8%	2,248	30.6%	627	27.9%
35	7,543	31	0.4%	7	22.6%	125	1.7%	31	24.8%	2,366	31.4%	702	29.7%
36	7,604	51	0.7%	9	17.6%	131	1.7%	30	22.9%	2,355	31.0%	693	29.4%
37	7,915	52	0.7%	15	28.8%	167	2.1%	54	32.3%	2,483	31.4%	703	28.3%
38	7,803	80	1.0%	21	26.3%	219	2.8%	62	28.3%	2,270	29.1%	653	28.8%
39	7,546	144	1.9%	36	25.0%	455	6.0%	91	20.0%	2,028	26.9%	576	28.4%
40	7,588	416	5.5%	109	26.2%	2,151	28.3%	579	26.9%				
41	7,377	408	5.5%	106	26.0%	1,964	26.6%	545	27.7%				

※詳細は参考資料表3参照

- 「若手研究(B)」については、その研究規模等からして、主な移行先は「基盤研究(C)」であり、一部の移行先が「基盤研究(B)」になると考えられる。
- 「基盤研究(C)」におけるこの年齢層の採択率は、現在でも25%程度であり、上の年齢層に比べても不利な状況は見られない。また、若手研究に応募できなくなる40歳になると多くの応募がなされているが、その採択率も27%程度と高い。この現状から推測する限りにおいては、「若手研究(B)」を2回獲得経験のある者が「基盤研究(C)」に移行してきたとしても、研究費の獲得が明らかに困難になるとは思われない。
- 「基盤研究(B)」においてもおおむね同様の現状にあるため、この現状から推測する限りにおいては、「若手研究(B)」を2回獲得経験のある者の一部が「基盤研究(B)」に移行してきたとしても、研究費の獲得が明らかに困難になるとは思われない。

(2) 今後の方向性

- 主たる移行先となると思われる「基盤研究(C)」については、少なくとも応募者の増に伴う予算の拡充が必要である。
 また、「若手研究(B)」と「基盤研究(C)」の関係においては、採択率で見ると、年齢の壁によるギャップはあまり大きくないが、採択件数では、35歳以降の「若手研究(B)」の場合は各年齢で600~700件であるのに対して、「基盤研究(C)」の年齢層になると500件台に減少し、件数面では各年齢で100~200件程度のギャップが存在する。若手研究から基盤研究へのスムーズな移行を図るためには、「基盤研究(C)」の採択件数(予算)を大幅に増やす必要がある。
- また、「若手研究(B)」から「基盤研究(C)」への自然な移行が図られることが望まれるが、これらの種目の条件を比較すると、研究期間の長さの違いから「基

盤研究（C）」が不利になっているため、「若手研究（B）」から「基盤研究（C）」に自然に移行するだけのインセンティブがない状況にある。したがって、「基盤研究（C）」の研究費の上限額を引き上げるなどの改善も必要である。（※この点については、3「基盤研究（C）」等において詳しく述べる。）

- 「若手研究（B）」については、若手研究者に対するインセンティブを与えるため、採択率を高め維持することが適当であると思われる。
- 「若手研究」から「基盤研究」への移行を円滑に図るため、平成 22 年度から最終年度前年度申請を認めることとされたが、若手の時期においても研究の継続性は重要であり、「若手研究」から「若手研究」の場合でも最終年度前年度申請を認めることが望ましいと思われる。

2 「若手研究（A）」について

-
- （審議のまとめの「今後の方針」）
-
- ⑤ 「若手研究（A）」を「基盤研究」の中に位置付ける方向で議論する場合でも、次のような点に十分留意する必要がある。
 - ・ 「若手研究（A）」を「基盤研究（A）」又は「基盤研究（B）」に位置付けるとすれば、それが若手研究者にどのような影響を与えるのか。特に、その意識やその後の応募行動にどのような影響を与えると考えられるのか。
 - ・ また、「若手研究（A）」を「基盤研究（A）」又は「基盤研究（B）」に位置付けるとすれば、それが既に「基盤研究」を受けている研究者にどのような影響を与えると考えられるのか。
 - ・ 「若手研究（A）」を「基盤研究（A）」又は「基盤研究（B）」に位置付けるとしても、その中で若手研究者をどのように処遇すべきか。（例えば、優遇措置を講ずるのかどうか。優遇措置を講ずるとしても、どのような内容の措置をどういった方法で、どの位の期間講ずべきなのか。また、その内容を前もって公募要領等で周知すべきか。等々）
-

(1) 検証結果

- 「若手研究（A）」については、30 歳代、特に 30 歳代後半の応募が多いが、年齢別の採択率は大きな差はなく、平均的に 19%程度となっている。また、応募件数は全体で 1,871 件、各年齢で 100~300 件程度である。
- 「若手研究（A）」については、その研究規模等からして、主な移行先は「基盤研究（B）」または「基盤研究（A）」となる。
- 「基盤研究（B）」における 30 歳代後半の採択率は、現在でも 25%程度であり、上の年齢層に比べて大きく不利な状況は見られない。また、若手研究に応募できなくなる 40 歳になると多くの応募がなされているが、その採択率も 26%程度と高い。この現状から推測する限りにおいては、「若手研究（A）」の応募者が「基盤研究

「(B)」の中に組み込まれることによって研究費の獲得が明らかに困難になるとは思われない。

また、応募件数の観点から見ても、「若手研究(A)」がそのまま「基盤研究(B)」に移行したとしても、この年齢層の応募件数が突出するような状況にはならない。

表2 平成21年度「基盤研究(A)(B)」、「若手研究(A)」の年齢別(30歳～41歳)応募・採択状況

年齢	応募資格者数	基盤研究(A)				基盤研究(B)				若手研究(A)			
		応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率
30	4,746		-			5	0.1%	1	20.0%	47	1.0%	10	21.3%
31	5,520		-			9	0.2%	1	11.1%	55	1.0%	11	20.0%
32	6,204		-			5	0.1%	0	0%	112	1.8%	22	19.6%
33	6,804	4	0.1%	0	0%	15	0.2%	3	20.0%	144	2.1%	27	18.8%
34	7,344	2	0.0%	1	50.0%	24	0.3%	6	25.0%	179	2.4%	32	17.9%
35	7,543	1	0.0%	0	0%	31	0.4%	7	22.6%	197	2.6%	40	20.3%
36	7,604	9	0.1%	1	11.1%	51	0.7%	9	17.6%	214	2.8%	40	18.7%
37	7,915	7	0.1%	2	28.6%	52	0.7%	15	28.8%	285	3.6%	48	16.8%
38	7,803	11	0.1%	5	45.5%	80	1.0%	21	26.3%	288	3.7%	57	19.8%
39	7,546	17	0.2%	6	35.3%	144	1.9%	36	25.0%	305	4.0%	56	18.4%
40	7,588	43	0.6%	6	14.0%	416	5.5%	109	26.2%				
41	7,377	51	0.7%	9	17.6%	408	5.5%	106	26.0%				

※詳細は参考資料表3参照

- 「基盤研究(A)」については、30歳代での応募件数が少ない。37歳以上では採択率が高いが、それ以下の若い年齢層では応募・採択ともに低い状況が見られる。また、若手研究に応募できなくなる40～41歳の採択率は16%程度と低くなっている。

この現状から推測すると、「若手研究(A)」に応募していた者の中の一部が「基盤研究(A)」に移行した場合には、特に30歳台前半では厳しい状況が予想されるが、応募件数はあまり多くないと思われる。また、「若手研究(A)」の採択率が19%程度とあまり高くない状況にあることから、比較的応募が多くなると考えられる30歳台後半においても、現在に比べて研究費の獲得が明らかに困難になるとは思われない。

(2) 今後の方向性

- 「若手研究(A)」の予算配分額については、応募者が移行する先となる「基盤研究(B)」などの充実に適宜移していく必要がある。

- 検証結果からすると、「若手研究（A）」を廃止し、「基盤研究（B）」及び「基盤研究（A）」の中において何らの優遇措置を講じなくても、大きな問題は生じないようにも思われる。しかし、対象となる若手研究者に与える心理的なプレッシャーは否定できない。したがって、こうした年齢別の採択状況を公開して、若手研究者がいたずらに臆することがないようにするとともに、少なくとも制度改変の当初においては、主たる移行先となると思われる「基盤研究（B）」に何らかの優遇措置を設け、制度的にも対象となる若手研究者に安心感を持たせる配慮が必要と思われる。
- 「若手研究（A）」に比べ「基盤研究（B）」の研究費の上限額が1,000万円低く、また、研究期間が長いこと、高額の研究費を必要とする若手研究者にとっては、さらに高額の研究種目である「基盤研究（A）」に応募せざるを得なくなる。このように考えると「基盤研究（A）」にも優遇措置が必要になるが、「基盤研究（A）」程度の大型の研究資金において、こうした特段の優遇措置を設けることが適当であるか否かについて検討が必要である。むしろ、「基盤研究（B）」の上限額を「若手研究（A）」と同額まで引き上げることで対応し、「基盤研究（A）」には優遇措置を設けないようにするという考え方もある。
- **優遇措置の具体的な案（例）**

「基盤研究（C）」における「私立学校・高等専門学校調整枠」と同様に、合議審査の際に、「採否のボーダーライン付近に39歳以下の応募者の研究課題があった場合には、優先的な採択に配慮する」方法が考えられる。

なお、優遇措置の方法等については、若手研究者に安心感を持たせるためにも、公募要領で明らかにする必要がある。

3 「基盤研究（C）」等について

(1) 検証結果

- 「基盤研究」の中では、平成12年度と平成21年度の比較（表3）では、「基盤研究（C）」の応募件数が1.17倍に増え、採択件数も1.32倍に増えているが、研究費の平均配分額が0.85倍（新規のみでは0.79倍）と減少している。この額は、「若手研究（B）」と比較しても若干低い水準にあり、明らかにひずみが生じている。このため、「若手研究（B）」から「基盤研究（C）」に自然に移行するインセンティブがない状況にある。「基盤研究（C）」側を適切に拡充しなければ、受給回数制限によってやむを得ず移行するだけのことになる。また、「若手研究」の期間をやむを得ず長期化させる方向に働き、結果として「若手研究」を受給できる期間中の研究費が満足に確保できないという悪影響が生じることも考えられる。

表3 「基盤研究（C）」及び「若手研究（B）」の応募・採択状況等の比較

研究種目	区 分	H 1 2	H 2 1	H12→H21
基盤研究（C）	配分額	18,867 百万円	21,088 百万円	1.12
	応募件数（新規）	28,201 件	33,019 件	1.17
	採択件数（新規）	5,887 件	7,764 件	1.32
	採択率	20.9 %	23.5 %	1.13
	採択件数（新規＋継続）	14,435 件	18,966 件	1.31
	平均配分額（新規）	1,852 千円	1,456 千円	0.79
	平均配分額（新規＋継続）	1,307 千円	1,112 千円	0.85
若手研究（B）	配分額	8,080 百万円	16,531 百万円	2.05
	応募件数（新規）	15,221 件	23,355 件	1.53
	採択件数（新規）	3,966 件	6,487 件	1.64
	採択率	26.1 %	27.8 %	1.07
	採択件数（新規＋継続）	7,957 件	13,100 件	1.65
	平均配分額（新規）	1,253 千円	1,583 千円	1.26
	平均配分額（新規＋継続）	1,015 千円	1,262 千円	1.24

※詳細は参考資料表2を参照

(2) 今後の方向性

- 「基盤研究（C）」の研究期間は3～5年であるが、応募のほとんどが最短の3年間の研究期間に集中していることから明らかなように、1年あたりの研究費の額が十分でない状況にある。「基盤研究（C）」について、「若手研究（B）」と比較しても不利にならない程度にすることを考えれば、現在の採択率の維持・向上が図られることが前提ではあるが、「基盤研究（C）」の上限額については、倍の額である1,000万円程度まで引き上げることが望ましい。

表4 平成21年度「基盤研究（C）」の研究期間別応募状況

区 分	研究期間			計
	3年	4年	5年	
応募件数	30,027 件	1,961 件	1,031 件	33,019 件
割合	91.0 %	5.9 %	3.1 %	100 %

※詳細は参考資料表4参照

- さらに、上述したように、「基盤研究（B）」の上限を「若手研究（A）」と同様の3,000万円まで引き上げるとともに、あわせて「基盤研究（A）」についても上限の見直しの検討が必要になると考えられる。その際には、「基盤研究（S）」と「特別推進研究」の関係の整理と併せて検討することが適当である。

- 「基盤研究（S）」と「特別推進研究」の関係については、両研究種目を互いに補完しあう研究種目として捉え、応募・審査も可能な範囲で一体的に取り扱うなど連携を強化していく方向で、現在本会で検討を行っているところである。なお、このような観点から、平成21年度までは「特別推進研究」と「基盤研究（S）」を同時期に審査していたが、平成22年度の審査においては、まず、「特別推進研究」について審査を行うこととし、「基盤研究（S）」では、この審査結果も参考にしながら、優れた研究課題を適切に助成できるよう審査を行う予定である。

応募書類提出後のスケジュール（予定）

特別推進研究	基盤研究（S）
平成21年12月～ 平成22年4月 審査 平成22年4月下旬 交付内定 5月中旬 交付申請 6月中旬 交付決定 6月下旬 補助金の送金	平成21年12月～ 平成22年5月 審査 平成22年5月下旬 交付内定 6月中旬 交付申請 6月下旬 交付決定 7月上旬 補助金の送金

※「平成22年度科学研究費補助金公募要領」より抜粋

4 「若手研究」の成果の検証

- ここ10年間（平成12年度と平成21年度を比較）で、科研費の予算額は約1.39倍に増えたが、「基盤研究」の1.25倍に比べて「若手研究」は2.88倍に伸びており、若手研究者の育成に重点を置いてきた。
- 「若手研究」については、特に「若手研究（B）」において、科研費の種目の中では比較的高い採択率と採択件数で研究支援を行ってきた。この間の「基盤研究」全体の応募件数はほぼ横ばい状態にあるが、「若手研究」への応募は、平成12年度と比較して1.35倍に増えている（年齢制限が引き上げられる前の平成20年度との比較）。この間の大学の本務教員数を比較すると、全体では約15%増えているが、35歳までの若手の教員数はむしろ減少している（文科省・教員統計調査の平成10年度と19年度の比較）。科研費の応募資格の拡大などの影響も考慮する必要があるが、中核となる本務教員の状況からすれば、若手支援の充実によって、若手研究者の研究意欲を高めることにつながったと評価することができる。

また、若手の年齢制限を過ぎた40歳台前半の「基盤研究（B）（C）」における採択率が比較的高いことからしても、「若手研究」が若手の時期における高い研究能力を育成するために役立ってきたと評価することができる。

表5 「基盤研究」及び「若手研究」の応募・採択件数等の推移

(金額単位：百万円)

研究種目	区分	H12	H16	H20	H21	H12→H21の変化
基盤研究	配分額	63,258	76,739	78,085	79,170	1.25
	応募件数(新規)	46,004	41,329	47,646	46,893	1.02
	採択件数(新規)	8,926	9,316	10,359	11,180	1.25
	採択率	19.4%	22.5%	21.7%	23.8%	1.23
	採択件数(新規+継続)	23,528	24,925	27,757	28,805	1.22
若手研究	配分額	8,080	16,149	19,551	23,244	2.88
	応募件数(新規)	15,221	15,090	20,557	25,788	1.69 H12→H20で1.35
	採択件数(新規)	3,966	4,508	5,361	6,872	1.73
	採択率	26.1%	29.9%	26.1%	26.6%	1.02
	採択件数(新規+継続)	7,957	10,376	12,471	14,000	1.76
科研費全予算額		141,900	183,000	193,200	196,998	1.39

※詳細は参考資料表2参照

表6 平成21年度「基盤研究(B)(C)」の年齢別(40代)応募・採択状況

年齢	応募資格者数	基盤研究(B)				基盤研究(C)			
		応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率
40	7,588	416	5.5%	109	26.2%	2,151	28.3%	579	26.9%
41	7,377	408	5.5%	106	26.0%	1,964	26.6%	545	27.7%
42	6,627	404	6.1%	100	24.8%	1,684	25.4%	453	26.9%
43	7,099	418	5.9%	108	25.8%	1,859	26.2%	480	25.8%
44	7,085	485	6.8%	131	27.0%	1,768	25.0%	461	26.1%
45	7,006	517	7.4%	124	24.0%	1,749	25.0%	436	24.9%
46	6,863	506	7.4%	139	27.5%	1,676	24.4%	417	24.9%
47	6,827	531	7.8%	141	26.6%	1,538	22.5%	379	24.6%
48	6,631	514	7.8%	138	26.8%	1,507	22.7%	375	24.9%
49	6,479	485	7.5%	127	26.2%	1,430	22.1%	331	23.1%
平均					24.9%				23.5%

※詳細は参考資料表3参照

表7 大学の本務教員数の推移（平成10年度、平成19年度）

区分	H10	H19	増減	
25歳未満	275	298	23	8.4%
25～30歳未満	5,842	4,869	-973	-16.7%
30～35歳未満	17,120	16,499	-621	-3.6%
35～40歳未満	22,925	24,028	1,103	4.8%
40～45歳未満	20,853	24,184	3,331	16.0%
45～50歳未満	19,730	24,137	4,407	22.3%
50～55歳未満	19,643	21,205	1,562	8.0%
55～60歳未満	17,566	23,100	5,534	31.5%
60～65歳未満	12,425	19,436	7,011	56.4%
65歳以上	9,774	10,215	441	4.5%
平均年齢（歳）	47.2	48.3	1.1	

※詳細は参考資料表5参照

- 「若手研究」という種目があることによって、「若いうちから自らのテーマで申請することができる」、「研究費を申請しやすい」といった雰囲気醸成するというメリットには大きいものがあったと考えられる。この点については、多くの申請が「若手研究（B）」に出されていることから、「若手研究（B）」の規模等について維持していけば、こうしたメリットを損なうことを避けることができると思われる。

また、特に「若手研究（A）」に採択されることが、昇進などの際に評価されるといった効果もあるという意見もあった。今後は、「基盤研究（B）」などを含めて科研費に採択されることが研究者の評価につながることを期待される。

5 科研費制度全体としての要検証事項

今回、主として「若手研究」から「基盤研究」への円滑な移行の観点から、研究種目の再編に関して検証を行ったが、その過程において、科研費制度全体のあり方に関わる問題についても意見が出された。こうした観点から今後検討を要すると思われる事項として、次のような点が上げられる。

(1) 「スタートアップ」研究種目の研究期間

- 「若手研究（スタートアップ）」は、平成22年度から「研究活動スタート支援（仮称）」に変更予定である。その多くは、初めて科研費を申請する若手を支援するものであり、科研費全体としては、「研究活動スタート支援」→「若手研究」→「基盤研究」という支援の仕組みの大きな流れができるととらえることもできよう。

こうした支援の仕組みの流れにおいて、採択率をどのように設定すべきかについても検討する必要があると思われる。

- 仮に、はじめは高めで徐々に厳しくするという考え方に立つとすれば、現在の「ス

ターゲットアップ」の採択率は25%程度であり、「若手研究（B）」よりも若干低い。

本格的な研究活動を支援するというよりも研究活動のスタート部分を支援するという趣旨であることや、採択率を最も高く設定することが望ましいということであれば、現在2年間としている研究期間を1年間とすることについても検討する必要があると思われる。

(2) 研究種目の研究費の上限額の設定方法

- 現行の制度では、研究種目ごとの研究費の上限額を総額によって定めているため、研究者は1年ごとに確保したい研究費の額に応じて研究期間を調整することがあり、この傾向は上限額の低い「基盤研究（C）」において顕著であると思われる。このことは、研究費制度の仕組みによって、本来の研究計画の期間を短くせざるを得ないという問題を生じさせることにつながっていると言することができる。
- こうした点を解決し、できるだけ長期間の安定した研究環境を提供するため、研究種目の研究費の上限額を、研究期間に応じて段階的に設定する方法が考えられる。（例えば、ある研究種目について、研究期間が3年であれば総額600万円、4年であれば800万円、5年であれば総額1,000万円まで申請することができることとする。）この場合、研究期間については、研究者の考えによって自由に設定することになるが、基本的には最長期間の5年間とするケースが多くなるのではないかと思われる。これは、短期の応募を繰り返すことの負担を軽減する上でも大きなメリットとなると思われる。
- 大きな考え方の変更であり、科研費の研究種目の全体にこのような考え方があてはまるかどうかや採択された課題の後年度の予算の負担増の問題、また、制度の移行に伴う採択率などの急激な変化を避けるための方策などについて、慎重に取り扱うことが必要であるが、研究種目の見直しと同時に、こうした点についても検討する必要があると考える。

表 1

平成 20 年度の若手研究 (A・B) 新規採択者のうち過去に
若手研究 (A・B) に採択されたことのある者の人数等

	人数	割合
若手研究 (A) 新規採択者数 (平成 20 年度)	253 人	—
うち過去に若手研究 (A・B) のどちらか一方又はその両方に採択された者の数等 (採択回数別の内訳)	170 人	67.2%
1 回	101 人	39.9%
2 回	62 人	24.5%
3 回	7 人	2.8%
若手研究 (B) 新規採択者数 (平成 20 年度)	4,959 人	—
うち過去に若手研究 (A・B) のどちらか一方又はその両方に採択された者の数等 (採択回数別の内訳)	1,812 人	36.5%
1 回	1,387 人	27.9%
2 回	383 人	7.7%
3 回	42 人	0.8%

「基盤研究」、「若手研究」の応募・採択件数等の推移(平成12年度～平成21年度)

表 2

○基盤研究

(金額単位:「配分額(百万円)」、「平均配分額(千円)」)

研究種目	区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H12→H21
基盤研究	配分額	63,258	66,733	70,336	72,230	76,739	77,443	77,937	79,031	78,085	79,170	1.25
	応募件数(新規)	46,004	51,496	40,895	42,482	41,329	45,236	46,175	46,766	47,646	46,893	1.02
	採択件数(新規)	8,926	9,466	9,058	9,090	9,316	9,664	10,156	11,009	10,359	11,180	1.25
	採択率	19.4%	18.4%	22.1%	21.4%	22.5%	21.4%	22.0%	23.5%	21.7%	23.8%	1.23
	採択件数(新規+継続)	23,528	23,550	23,798	23,700	24,925	25,344	26,019	27,105	27,757	28,805	1.22
基盤研究(S)	配分額		1,719	3,274	3,980	4,796	5,619	5,588	5,814	7,351	9,655	5.62
	応募件数(新規)		2,091	595	574	396	455	454	431	551	489	0.23
	採択件数(新規)		61	74	69	65	74	82	81	85	100	1.64
	採択率		2.9%	12.4%	12.0%	16.4%	16.3%	18.1%	18.8%	15.4%	20.4%	7.01
	採択件数(新規+継続)		61	135	198	257	316	336	344	363	398	6.52
	平均配分額(新規)		28,175	26,969	24,533	26,074	26,930	24,098	25,004	39,169	41,207	1.46
	平均配分額(新規+継続)		28,175	24,250	20,101	18,663	17,780	16,632	16,900	20,252	24,259	0.86
基盤研究(A)	配分額	13,734	13,955	16,167	17,212	17,715	17,349	16,899	16,782	17,207	17,267	1.26
	応募件数(新規)	2,468	2,666	2,544	2,518	2,123	2,515	2,568	2,345	2,439	2,366	0.96
	採択件数(新規)	394	450	604	544	509	526	520	543	545	567	1.44
	採択率	16.0%	16.9%	23.7%	21.6%	24.0%	20.9%	20.2%	23.2%	22.3%	24.0%	1.50
	採択件数(新規+継続)	1,537	1,397	1,473	1,672	1,798	1,771	1,695	1,731	1,767	1,822	1.19
	平均配分額(新規)	16,775	16,537	15,487	14,534	14,904	14,660	14,554	13,697	13,407	13,123	0.78
	平均配分額(新規+継続)	8,935	9,989	10,975	10,294	9,852	9,796	9,970	9,695	9,738	9,477	1.06
基盤研究(B)	配分額	30,657	31,953	32,006	32,549	34,846	34,319	34,507	34,011	32,225	31,160	1.02
	応募件数(新規)	15,335	16,385	11,416	12,441	12,032	12,098	12,074	11,345	11,717	11,019	0.72
	採択件数(新規)	2,645	2,726	2,718	2,661	2,769	2,654	2,725	2,649	2,601	2,749	1.04
	採択率	17.2%	16.6%	23.8%	21.4%	23.0%	21.9%	22.6%	23.3%	22.2%	24.9%	1.45
	採択件数(新規+継続)	7,556	7,454	7,502	7,500	7,877	7,770	7,740	7,598	7,559	7,619	1.01
	平均配分額(新規)	6,518	6,568	6,301	6,473	6,526	6,439	6,426	6,264	5,738	5,499	0.84
	平均配分額(新規+継続)	4,057	4,287	4,266	4,340	4,424	4,417	4,458	4,476	4,263	4,090	1.01
基盤研究(C)	配分額	18,867	19,106	18,889	18,489	19,382	20,156	20,943	22,424	21,302	21,088	1.12
	応募件数(新規)	28,201	30,354	26,340	26,949	26,778	30,168	31,079	32,645	32,939	33,019	1.17
	採択件数(新規)	5,887	6,229	5,662	5,816	5,973	6,410	6,829	7,736	7,128	7,764	1.32
	採択率	20.9%	20.5%	21.5%	21.6%	22.3%	21.2%	22.0%	23.7%	21.6%	23.5%	1.13
	採択件数(新規+継続)	14,435	14,638	14,688	14,330	14,993	15,487	16,248	17,432	18,068	18,966	1.31
	平均配分額(新規)	1,852	1,821	1,783	1,776	1,790	1,775	1,730	1,668	1,483	1,456	0.79
	平均配分額(新規+継続)	1,307	1,305	1,286	1,290	1,293	1,302	1,289	1,286	1,179	1,112	0.85
備考		研究期間 2～4年	S新設 SA 間接経費						BC 間接経費	S 上限2億 ABC 研究期間 3～5年		

○若手研究

(金額単位:「配分額(百万円)」、「平均配分額(千円)」)

研究種目	区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H12→H21	H12→H20
若手研究	配分額	8,080	8,298	11,949	13,867	16,149	19,120	20,507	20,147	19,551	23,244	2.88	
	応募件数(新規)	15,221	15,277	15,720	15,708	15,090	18,565	19,414	20,519	20,557	25,788	1.69	1.35
	採択件数(新規)	3,966	4,170	4,361	4,430	4,508	5,402	5,515	5,411	5,361	6,872	1.73	
	採択率	26.1%	27.3%	27.7%	28.2%	29.9%	29.1%	28.4%	26.4%	26.1%	26.6%	1.02	
	採択件数(新規+継続)	7,957	8,194	8,491	8,579	10,376	11,561	12,350	12,672	12,471	14,000	1.76	
若手研究(S)	配分額								600	1,412	1,984	3.31	
	応募件数(新規)								1,262	805	562	0.45	
	採択件数(新規)								35	39	35	1.00	
	採択率								2.8%	4.8%	6.2%	2.25	
	採択件数(新規+継続)								35	74	108	3.09	
	平均配分額(新規)								17,143	20,823	21,963	1.28	
	平均配分額(新規+継続)								17,143	19,082	18,369	1.07	
若手研究(A)	配分額			1,900	2,459	3,322	4,538	5,337	4,831	4,088	4,729	2.49	
	応募件数(新規)			1,999	1,375	1,048	1,245	1,325	1,415	1,430	1,871	0.94	
	採択件数(新規)			206	155	200	324	332	244	254	350	1.70	
	採択率			10.3%	11.3%	19.1%	26.0%	25.1%	17.2%	17.8%	18.7%	1.82	
	採択件数(新規+継続)			206	360	503	626	783	829	752	792	3.84	
	平均配分額(新規)			9,223	9,111	9,737	9,448	9,352	8,351	7,848	8,389	0.91	
	平均配分額(新規+継続)			9,223	6,831	6,605	7,250	6,816	5,827	5,436	5,970	0.65	
若手研究(B) (※)	配分額	8,080	8,298	10,049	11,408	12,827	14,582	15,170	14,716	14,051	16,531	2.05	
	応募件数(新規)	15,221	15,277	13,721	14,333	14,042	17,320	18,089	17,842	18,322	23,355	1.53	1.20
	採択件数(新規)	3,966	4,170	4,155	4,275	4,308	5,078	5,183	5,132	5,068	6,487	1.64	
	採択率	26.1%	27.3%	30.3%	29.8%	30.7%	29.3%	28.7%	28.8%	27.7%	27.8%	1.07	
	採択件数(新規+継続)	7,957	8,194	8,285	8,219	9,873	10,935	11,567	11,808	11,645	13,100	1.65	
	平均配分額(新規)	1,253	1,242	1,650	1,701	1,710	1,735	1,703	1,544	1,530	1,583	1.26	
	平均配分額(新規+継続)	1,015	1,013	1,213	1,388	1,299	1,333	1,312	1,246	1,207	1,262	1.24	
備考		研究費 300万円 研究期間 2年 37歳以下		AB新設 研究期間 2~3年 A 間接経費					S新設 AB 研究期間 2~4年	S 下限設定 3千万円 B 間接経費	AB 39歳以 下		

※平成13年度までは、「奨励研究(A)」

(金額単位:百万円)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H12→H21
科研費全予算額	141,900	157,965	170,300	176,500	183,000	188,000	189,500	191,300	193,200	196,998	1.39
配分額											
基盤+若手	71,338	75,031	82,285	86,097	92,888	96,563	98,444	99,178	97,636	102,414	1.44
その他	70,562	82,934	88,015	90,403	90,112	91,437	91,056	92,122	95,564	94,584	1.34

表3

平成21年度「基盤研究」、「若手研究」の年齢別応募・採択状況

(平成21年8月現在)

年齢	基盤研究(S)					基盤研究(A)				基盤研究(B)				基盤研究(C)			
	応募資格を有する研究者の登録数	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率
～26	1,202		-				-			1	0.1%	0	0.0%	6	0.5%	1	16.7%
27	1,351		-				-				-			17	1.3%	0	0.0%
28	2,355		-			1	0.0%	0	0.0%	3	0.1%	0	0.0%	13	0.6%	3	23.1%
29	3,563		-			1	0.0%	0	0.0%	5	0.1%	1	20.0%	28	0.8%	7	25.0%
30	4,746		-				-			5	0.1%	1	20.0%	48	1.0%	8	16.7%
31	5,520		-				-			9	0.2%	1	11.1%	53	1.0%	10	18.9%
32	6,204		-				-			5	0.1%	0	0.0%	59	1.0%	16	27.1%
33	6,804		-			4	0.1%	0	0.0%	15	0.2%	3	20.0%	69	1.0%	17	24.6%
34	7,344		-			2	0.0%	1	50.0%	24	0.3%	6	25.0%	108	1.5%	30	27.8%
35	7,543		-			1	0.0%	0	0.0%	31	0.4%	7	22.6%	125	1.7%	31	24.8%
36	7,604		-			9	0.1%	1	11.1%	51	0.7%	9	17.6%	131	1.7%	30	22.9%
37	7,915		-			7	0.1%	2	28.6%	52	0.7%	15	28.8%	167	2.1%	54	32.3%
38	7,803	1	0.0%	0	0.0%	11	0.1%	5	45.5%	80	1.0%	21	26.3%	219	2.8%	62	28.3%
39	7,546		-			17	0.2%	6	35.3%	144	1.9%	36	25.0%	455	6.0%	91	20.0%
40	7,588	3	0.0%	0	0.0%	43	0.6%	6	14.0%	416	5.5%	109	26.2%	2,151	28.3%	579	26.9%
41	7,377	3	0.0%	0	0.0%	51	0.7%	9	17.6%	408	5.5%	106	26.0%	1,964	26.6%	545	27.7%
42	6,627	1	0.0%	1	100.0%	47	0.7%	9	19.1%	404	6.1%	100	24.8%	1,684	25.4%	453	26.9%
43	7,099	7	0.1%	1	14.3%	61	0.9%	15	24.6%	418	5.9%	108	25.8%	1,859	26.2%	480	25.8%
44	7,085	11	0.2%	2	18.2%	77	1.1%	19	24.7%	485	6.8%	131	27.0%	1,768	25.0%	461	26.1%
45	7,006	11	0.2%	2	18.2%	62	0.9%	23	37.1%	517	7.4%	124	24.0%	1,749	25.0%	436	24.9%
46	6,863	11	0.2%	2	18.2%	78	1.1%	21	26.9%	506	7.4%	139	27.5%	1,676	24.4%	417	24.9%
47	6,827	28	0.4%	4	14.3%	105	1.5%	21	20.0%	531	7.8%	141	26.6%	1,538	22.5%	379	24.6%
48	6,631	19	0.3%	4	21.1%	93	1.4%	16	17.2%	514	7.8%	138	26.8%	1,507	22.7%	375	24.9%
49	6,479	21	0.3%	4	19.0%	107	1.7%	11	10.3%	485	7.5%	127	26.2%	1,430	22.1%	331	23.1%
50	6,458	21	0.3%	5	23.8%	106	1.6%	21	19.8%	496	7.7%	140	28.2%	1,384	21.4%	323	23.3%
51	6,045	34	0.6%	10	29.4%	111	1.8%	27	24.3%	461	7.6%	129	28.0%	1,199	19.8%	269	22.4%
52	5,602	22	0.4%	4	18.2%	117	2.1%	33	28.2%	451	8.1%	111	24.6%	1,123	20.0%	263	23.4%
53	5,671	26	0.5%	6	23.1%	110	1.9%	29	26.4%	436	7.7%	118	27.1%	1,097	19.3%	235	21.4%
54	5,513	24	0.4%	5	20.8%	116	2.1%	33	28.4%	425	7.7%	110	25.9%	1,023	18.6%	220	21.5%
55	5,430	30	0.6%	9	30.0%	97	1.8%	27	27.8%	432	8.0%	119	27.5%	973	17.9%	191	19.6%
56	5,290	22	0.4%	2	9.1%	111	2.1%	33	29.7%	373	7.1%	88	23.6%	933	17.6%	185	19.8%
57	5,268	29	0.6%	8	27.6%	116	2.2%	32	27.6%	353	6.7%	74	21.0%	953	18.1%	204	21.4%
58	5,408	19	0.4%	2	10.5%	101	1.9%	22	21.8%	393	7.3%	84	21.4%	908	16.8%	200	22.0%
59	5,837	29	0.5%	10	34.5%	98	1.7%	31	31.6%	412	7.1%	88	21.4%	862	14.8%	163	18.9%
60	6,415	35	0.5%	9	25.7%	118	1.8%	35	29.7%	421	6.6%	90	21.4%	942	14.7%	169	17.9%
61	6,786	31	0.5%	6	19.4%	125	1.8%	30	24.0%	407	6.0%	90	22.1%	910	13.4%	142	15.6%
62	5,249	21	0.4%	2	9.5%	86	1.6%	15	17.4%	269	5.1%	55	20.4%	666	12.7%	126	18.9%
63	3,907	9	0.2%	1	11.1%	42	1.1%	9	21.4%	138	3.5%	33	23.9%	329	8.4%	59	17.9%
64	3,772	6	0.2%	1	16.7%	35	0.9%	7	20.0%	106	2.8%	17	16.0%	253	6.7%	48	19.0%
65	4,131	4	0.1%	0	0.0%	32	0.8%	8	25.0%	99	2.4%	21	21.2%	215	5.2%	53	24.7%
66	2,844	4	0.1%	0	0.0%	21	0.7%	4	19.0%	86	3.0%	18	20.9%	141	5.0%	33	23.4%
67	2,425	1	0.0%	0	0.0%	11	0.5%	2	18.2%	49	2.0%	13	26.5%	110	4.5%	25	22.7%
68	2,098	1	0.0%	0	0.0%	12	0.6%	1	8.3%	36	1.7%	11	30.6%	71	3.4%	18	25.4%
69	1,531	1	0.1%	0	0.0%	8	0.5%	0	0.0%	16	1.0%	3	18.8%	37	2.4%	8	21.6%
70	1,157		-			3	0.3%	1	33.3%	5	0.4%	2	40.0%	16	1.4%	3	18.8%
71～	3,830	4	0.1%	0	0.0%	13	0.3%	2	15.4%	46	1.2%	12	26.1%	50	1.3%	11	22.0%
合計	247,749	489	0.2%	100	20.4%	2,366	1.0%	567	24.0%	11,019	4.4%	2,749	24.9%	33,019	13.3%	7,764	23.5%

基盤研究(合計)	46,893	18.9%	11,180	23.8%
----------	--------	-------	--------	-------

平成21年度「基盤研究」、「若手研究」の年齢別応募・採択状況

(平成21年8月現在)

年齢	応募資格を有する研究者の登録数	若手研究(S)				若手研究(A)				若手研究(B)				「基盤研究」「若手研究」合計			
		応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率	応募件数	応募率	採択件数	採択率
～26	1,202		-			2	0.2%	0	0.0%	185	15.4%	18	9.7%	194	16.1%	19	9.8%
27	1,351		-			2	0.1%	1	50.0%	261	19.3%	51	19.5%	280	20.7%	52	18.6%
28	2,355	1	0.0%	0	0.0%	12	0.5%	3	25.0%	599	25.4%	129	21.5%	629	26.7%	135	21.5%
29	3,563	3	0.1%	0	0.0%	29	0.8%	3	10.3%	1,138	31.9%	297	26.1%	1,204	33.8%	308	25.6%
30	4,746	3	0.1%	0	0.0%	47	1.0%	10	21.3%	1,460	30.8%	393	26.9%	1,563	32.9%	412	26.4%
31	5,520	7	0.1%	0	0.0%	55	1.0%	11	20.0%	1,799	32.6%	475	26.4%	1,923	34.8%	497	25.8%
32	6,204	10	0.2%	0	0.0%	112	1.8%	22	19.6%	1,972	31.8%	535	27.1%	2,158	34.8%	573	26.6%
33	6,804	14	0.2%	0	0.0%	144	2.1%	27	18.8%	2,191	32.2%	635	29.0%	2,437	35.8%	682	28.0%
34	7,344	16	0.2%	1	6.3%	179	2.4%	32	17.9%	2,248	30.6%	627	27.9%	2,577	35.1%	697	27.0%
35	7,543	10	0.1%	0	0.0%	197	2.6%	40	20.3%	2,366	31.4%	702	29.7%	2,730	36.2%	780	28.6%
36	7,604	36	0.5%	3	8.3%	214	2.8%	40	18.7%	2,355	31.0%	693	29.4%	2,796	36.8%	776	27.8%
37	7,915	31	0.4%	5	16.1%	285	3.6%	48	16.8%	2,483	31.4%	703	28.3%	3,025	38.2%	827	27.3%
38	7,803	50	0.6%	6	12.0%	288	3.7%	57	19.8%	2,270	29.1%	653	28.8%	2,919	37.4%	804	27.5%
39	7,546	59	0.8%	3	5.1%	305	4.0%	56	18.4%	2,028	26.9%	576	28.4%	3,008	39.9%	768	25.5%
40	7,588	115	1.5%	4	3.5%									2,728	36.0%	698	25.6%
41	7,377	88	1.2%	7	8.0%									2,514	34.1%	667	26.5%
42	6,627	119	1.8%	6	5.0%									2,255	34.0%	569	25.2%
43	7,099													2,345	33.0%	604	25.8%
44	7,085													2,341	33.0%	613	26.2%
45	7,006													2,339	33.4%	585	25.0%
46	6,863													2,271	33.1%	579	25.5%
47	6,827													2,202	32.3%	545	24.8%
48	6,631													2,133	32.2%	533	25.0%
49	6,479													2,043	31.5%	473	23.2%
50	6,458													2,007	31.1%	489	24.4%
51	6,045													1,805	29.9%	435	24.1%
52	5,602													1,713	30.6%	411	24.0%
53	5,671													1,669	29.4%	388	23.2%
54	5,513													1,588	28.8%	368	23.2%
55	5,430													1,532	28.2%	346	22.6%
56	5,290													1,439	27.2%	308	21.4%
57	5,268													1,451	27.5%	318	21.9%
58	5,408													1,421	26.3%	308	21.7%
59	5,837													1,401	24.0%	292	20.8%
60	6,415													1,516	23.6%	303	20.0%
61	6,786													1,473	21.7%	268	18.2%
62	5,249													1,042	19.9%	198	19.0%
63	3,907													518	13.3%	102	19.7%
64	3,772													400	10.6%	73	18.3%
65	4,131													350	8.5%	82	23.4%
66	2,844													252	8.9%	55	21.8%
67	2,425													171	7.1%	40	23.4%
68	2,098													120	5.7%	30	25.0%
69	1,531													62	4.0%	11	17.7%
70	1,157													24	2.1%	6	25.0%
71～	3,830													113	3.0%	25	22.1%
合計	247,749	562	0.6%	35	6.2%	1,871	2.4%	350	18.7%	23,355	30.1%	6,487	27.8%	72,681	29.3%	18,052	24.8%

うち「若手研究」の応募資格を有する研究者の登録	77,500	～39歳
	99,092	～42歳

若手研究(合計)	25,788	26.0%	6,872	26.6%
----------	--------	-------	-------	-------

表4

平成21年度「基盤研究」、「若手研究」の研究期間別応募状況

研究種目 研究期間		基盤研究（S）	基盤研究（A）	基盤研究（B）	基盤研究（C）	若手研究（S）	若手研究（A）	若手研究（B）
2年	応募件数	-	-	-	-	-	349	14,831
	割合	-	-	-	-	-	18.7%	63.5%
3年	応募件数	18	1,216	8,447	30,027	-	1,108	7,134
	割合	3.7%	51.4%	76.7%	91.0%	-	59.2%	30.5%
4年	応募件数	31	743	1,896	1,961	-	414	1,390
	割合	6.3%	31.4%	17.2%	5.9%	-	22.1%	6.0%
5年	応募件数	440	407	676	1,031	562	-	-
	割合	90.0%	17.2%	6.1%	3.1%	100.0%	-	-
合計	応募件数	489	2,366	11,019	33,019	562	1,871	23,355
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（注）平成21年度「基盤研究」及び「若手研究」に新規応募のあった研究課題について、研究期間ごとの応募割合を集計

